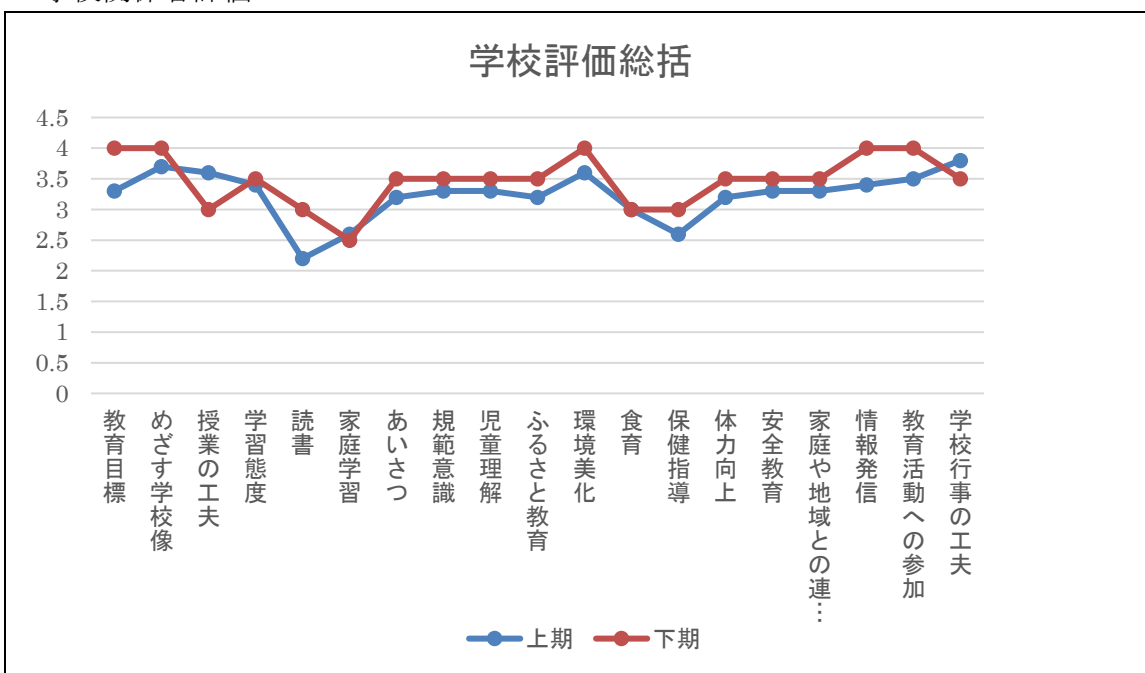


1 学校関係者評価委員名

原田 康秀 (地区振興会会長)	洲崎 豊裕 (本渡ふたば保育園園長)
金子 晴久 (佐伊津保育園園長)	宮崎 公明 (佐伊津郵便局長)
濱洲 大心 (佐伊津子ども育成会だりっちゃん代表)	
佐々木 聡 (本校PTA会長)	金子 由美 (地域学校協働活動推進員)
佐藤 千恵子 (佐伊津町婦人会会長)	岡田 友成 (交通安全指導員)
松下 宗裕 (元本渡中PTA会長)	原田 由紀 (主任児童民生委員)

2 学校関係者評価



関係者評価の総括としてすべての項目において課題改善が図られたように捉えている。一番の課題は読書であった。この項目については保護者からの評価も低かったので学校総体として取組を図る必要がある。また家庭学習についても、関係者・保護者ともに評価が低かった。これらについては2学期より家庭学習の内容を見える化し、学校としての取組を児童・保護者に啓発をしたことから児童・職員の評価は高かった。継続的に取組を行っていくことで保護者の意識啓発も図っていく。あいさつ、規範意識、保健指導については大きく改善傾向が窺える。保健指導は10時前就寝や朝ご飯摂取について児童会（保健委員会）を主体とした取組により児童・保護者に浸透してきている。養護教諭からの啓発等、家庭への働きかけの成果である。

また地域の声として朝の登校の様子について、集団登校で学校に来ることができない子や車で来る児童が多いことにも関係者からの多くのご意見を得た。これらの課題については、学校運営協議会に児童を参加させることにより共有化し課題解決に向け児童自身に考えさせる有意義な機会となった。

一方、学校からの情報発信、教育活動への参加、学校行事の工夫の3点につ

いてはでは大きな成果が見られた。特に学校からの情報発信としてホームページの更新については、楽しみにしてくださっているというご意見を多数得た。

佐伊津町は振興会の組織が整っており編成する区長様や民生委員様等、学校と関係する方々も多くいらっしゃる。振興会との学校の繋がりをさらに強くできるよう、次年度は学校から地域に出向いていくような児童の活動を多く設定していきたい。そのためにも振興会長（学校運営協議会委員長）との連携を密にし、学校の在り方を考えていきたい。次年度もさらに地域とともにある学校づくりを目指していく。地域の声にしっかりと耳を傾け、児童の姿を地域と共有しながら学校教育目標を達成できるよう努めていく。地域の教育力をいかした学校経営を行っていく。

英語の授業づくりについては専科導入により効果がある一方、担任との連携の必要性が職員から挙げられていた。授業づくりについては児童アンケートを基に改善を図っていく。

3 来年度の重点取組（学校評価を踏まえた今後の方向性）

